

かくだ市議会だより



第424回定例会

- 概要・質疑 2
- 常任委員会・自由討議 3
- 議案審議結果 4
- 一般質問 5～11

角田市議会から

- 議会だよりモニター募集 12

【今号の表紙】『干し柿と古代米の稲穂』

毎年のごと、柿の皮をむいて干しています。
古代米の稲穂も一緒に干してありました。

≪撮影≫まんでん さん

撮影日：令和5年12月1日 場 所：角田市高倉

表紙写真・イラスト等募集しています

詳細は角田市ウェブサイト内「かくだ市議会
だより表紙写真・イラスト募集」をご覧ください。



第424回 12月定例会

第424回定例会は12月5日から12月21日までの17日間の会期で開かれました。

市長から提案のあった条例の制定や一部改正、ふるさと納税寄附金の増額見込み等による補正予算などの議案25件を審議し、原案のとおり可決しました。また、固定資産評価審査委員会委員の選任について同意しました。

一般質問では、12人の議員が市政全般にわたり論戦を繰り広げました。

最終日には、意見書提出に関して議員提出議案が1件提出され、原案のとおり可決しました。

議案第76号
角田市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正

角田児童センターの放課後児童クラブの定員を改正するもの。

問 なぜ定員を60人から25人にするのか。

答 国は、放課後児童クラブについて、安全・安心な居場所づくりの観点から、学校での実施を推奨しており、角田小学校の空き教室にクラス(35人)移動をする。移動により、角田児童センター本来の機能である自由に来館した児童の活動スペースを確保でき、また、子育て支援センターのまめっこ事業を終日同センターで実施可能となる。

議案第79号
角田市市民センター条例等の一部改正

経常収支比率の改善に向け、受益者負担の適正化、減免基準の統一化、使用料等未徴収施設の適正化を図るため、使用料等の改正を行うもの。

問 経常収支比率改善に向け、た取組として改正することだが、市民の所得向上

今回改正となる使用料等一覧 (令和6年4月1日～)

施設	改正する使用料等
市民センター	ホール使用料、ホワイ及びミーティング室の使用料を新設
屋内温水プール	個人使用・回数券・3か月券・貸切使用
市民ゴルフ場	コース使用料
パークゴルフ場	個人使用・回数券
総合体育館	競技場・柔道場・剣道場・トレーニング室
郷土資料館	企画展示の観覧料の上限額
中央広場	使用料
本町パーク	使用料

※その他、各施設で減免基準の見直しも行われています。

議案第81号

一般会計補正予算(第7号)

固定資産税

1億円

問 1億円の税収増となった理由は。

答 決算見込みにより、家屋が約3,000万円増となり、非木造の工場建築の評価額が当初予算編成時に見込めなかったこと、また、償却資産が約7,000万円増となり、当初予算編成時の見込みを上回る設備投資があったことが主な要因である。

地域医療対策事業

50万円

問 業務委託を実施するに至った経緯と目的を問う。

答 現在、市内の産科医・小児科医は不在のため、第6次長期総合計画において、令和8年度までに1人の産科医・小児科医の招聘を目指している。市内の子どもたちの医療受診状況を専門的な見地から分析することで、角田市の小児医療のあり方を検討するための基礎資料を作成する。また、今後小児科の新設・既設病院での小児科の開設・開

道の駅かくだ管理運営事業

170万円

問 どのような改修工事を行う予定なのか。

答 現在の直売所面積137㎡の20%に相当する28㎡を拡充する。直売所の南側回廊を外壁等で囲み、建物内部になるようにし、ガラス面の壁を撤去することで建物の内部と一体的にする計画である。



▲直売所の南側回廊

議案第73号

角田市ふるさと応援基金条例の制定

ふるさと納税寄附金を適正に管理し、寄附者の想いを反映した施策に活用するため、条例を制定するもの。

総務産業常任委員会での質疑

問 基金の設置には、どのような効果があるのか。

答 基金へ積立することにより、寄附金の適正な管理を行うとともに、一般財源(※1)から特定財源(※2)となり、特定の事業へ充当することで、寄附者が希望する使い道(※3)が直接予算に反映され、寄附金の使途が明確になる。また、特定財源であるため、充て先の性質によっては経常収支比率の改善にもつながる。

(※1) 使途を自由に選ぶことができる収入で、市税等が該当します。
(※2) 使途(目的)が決まっている収入で、国や県の補助金、使用料等が該当します。
(※3) 長期総合計画に掲げる3つの重点プロジェクト「市民力」「地域共生」「地域資源フル活用」と「市政全般(市長にお任せ)」の4項目があります。

本会議での討論

反対討論……目下 七郎

普通交付税の額の算定が懸念されるふるさと納税の継続に反対し、普通交付税の交付自治体への標準財政を求め、総務省は、ふるさと納税寄附金を普通交付税の額の算定で基準財政収入額として取り扱い、普通交付税を減額するよううだ。しかし、ふるさと納税の目的寄附金は、特定財源であり基準財政収入額とはならない。基準財政収入額の算定外とするための条例は不要である。

賛成討論……武藤 広一

この条例は、角田市に寄せられたふるさと納税寄附金を適正に管理するとともに、魅力あるまちづくりを推進するため、地方自治法の規定に基づき制定するもの。角田市第6次長期総合計画に掲げる重点プロジェクト等による目的に沿って財源を積立・運用するもので、交流人口・関係人口のさらなる増加も期待される。

自由討議

「角田市議会として、阿武隈急行線のために何ができるか」

菅野マホ(通告者) ▼阿武隈急行線は、令和元年東日本台風や感染症の影響で業績が悪化し、現在「在り方検討会」で経営改善が検討されている。一方、角田市では「阿武隈急行線利用促進協議会」の再設立、市民の応援団体の設立と活発化している。旧丸森線から阿武隈急行線開通へ繋げた先人の努力を沿線住民・行政・議会議員が受け継ぎ、この難局を乗り越えるため議員各位の考えを伺いたい。



▲利用者が戻りつつある角田駅

発言者及び発言内容は次のとおりです。

武藤広一 ▼昭和50年代後半に、青年団活動で「乗って守ろう丸森線」と称して、存続運動に関わった。議会として、特別委員会の設置も視野に入れて、議員同士(沿線市町議員も含めて)での調査研究が必要。沿線自治体の住民・行政・議会が知恵を絞って存続すべき財産だ。

柄目孝治 ▼存続なり正常なる運行経営の確立にはハードルは高く、残念ながら活動には限界を感じざるを得ない。阿武隈急行線が市民の生活生命路線であると強く認識を持つこと、併せて沿線全体政策を強く提案すべきだ。

齋藤 強 ▼もちろん何としても存続していかねばならない。乗客が増加して経営が成り立つことが理想だが、銚子電鉄で存続に成功したインターネット通販や撮り鉄さんなどのイベント、クラウドファンディングなど、考えられる増収策を講じていく段階ではないか。

星 隆悦 ▼阿武隈急行線は角田市にとってライフラインであり、必要不可欠なものである。苦勞の末、国鉄丸森線の全線開通を果たし、角田市の発展に寄与した。どんなに財政負担が生じようとも、支え続けて存続させなければならぬ。阿武隈急行線の存続が角田市の未来を左右する。

? 議会のギモン

自由討議ってなに?

A 議案や市政の課題等について、各議員が賛成・反対の意思表示(議決)をするだけでは、市議会として市民の皆さんに説明責任を果たせません。議案や市政の課題等の問題点について、各議員が意見を出し合い、論点を明確にすることで、市議会として合意形成を図る、また、提言等をするための制度です。

過去には「新型コロナウイルス感染症対策について」「市立学校条例の一部改正について」等の自由討議を行っています。

齋藤克敏 ▼いくつもの社会問題が複合的な要因となり、阿武隈急行線の現状がある。こうした課題に特効薬はなく、地道に一つ一つ社会の抱える課題に向き合い、少しでも良い方向へいくよう粘り強く取り組むことが、最終的に阿武隈急行線の存続につながるのではないか。

一般質問

一般質問とは、角田市のさまざまな課題等について、市長や教育長などに対し、事務の執行状況や将来の考えなどを質することです。質問は一問一答で、議員1人につき30分以内（答弁時間は含めない）で行われます。

質問した議員ごとに要約してお知らせします。（その他の質問の要約は掲載されておりませんので、録画中継の配信をご視聴ください。）

菊地 利衛	星 隆悦	日下 七郎	瀧口 聖人	戸村眞喜夫	湯村 勇	菅野 マホ	柄目 孝治	質問議員 (質問順)
阿武隈急行線の存続に向けて 企業誘致の見通しと地場産業の育成について	リスクリング(Ré-skilling)と職員研修について その他の質問 ・角田市の財政運営について	角田市防災・減災構想に関することについて 第1子の学校給食費無償化について その他の質問 ・文書の管理に関する事、及び学校廃止後の書類の保存に関する事について ・市道路線番号2062 大和橋島内線の管理について ・島石農村公園(位置 角田市島田字四拾刈16-3及び17)の取り付け道路について	地球温暖化に伴う自然災害増大と再生可能エネルギーの設備の必要性について	角田市における新規就農支援のあり方について	市長の所信について 地域消費喚起緊急支援事業について	「誰一人取り残さないために」一歩踏み込んだ支援策」について 「水路清掃に多くの要望」について	阿武隈急行線に係る諸課題について	質問項目
9	9	8	8	7	7	6	6	頁

ライブ・録画配信を行っています



<http://www.kakuda-city.stream.jfit.co.jp>

インターネットを利用したパソコン・スマートフォン・タブレット端末でもライブ中継がご覧になれます。
また、インターネットによる録画中継の配信も行っております。

角田市議会 映像配信 検索

第424回(令和5年12月)定例会

傍聴者数 4人
インターネットライブ中継視聴者数 延べ 332人

インターネット録画中継視聴者数
10月~12月 延べ 817人

八島 定雄	齋藤 強	小湊 毅	齋藤 克敏	質問議員 (質問順)
「いじめのない、子どもの命を大切にする学校・社会をつくる」ことについて 自衛隊への個人情報提供について その他の質問 ・道路のくぼみによるパンク等事故について	一般質問に対する答弁について 角田市防災・減災構想について かくだ3割増商品券販売について	角田市の山間部の田畑の有効活用について その他の質問 ・角田市の学校給食費の完全無償化について	市内保育施設での完全給食の提供について 放課後児童クラブの長期休業期間中の昼食提供について 病児・病後児保育について	質問項目
11	11	10	10	頁

審議結果一覧

賛成と反対がわかれたもの

〔○〕は賛成、〔×〕は反対、〔-〕は退席又は欠席
議長(馬場道晴議員)は採決に加わりません。

提出者	議案番号	件名	審議結果 (賛成:反対)	会派一心			かくだ未来倶楽部		日本共産党角田市議員		無会派 (会派に所属しない議員)							
				菊地 利衛	小湊 毅	戸村眞喜夫	渡邊 誠	武藤 広一	菅野 マホ	瀧口 聖人	日下 七郎	八島 定雄	星 隆悦	齋藤 克敏	湯村 勇	齋藤 強	柄目 孝治	堀田 孝一
市長	議案第73号	角田市ふるさと応援基金条例の制定について	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第80号	給水条例の一部改正について	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第81号	令和5年度角田市一般会計補正予算(第7号)	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員	議案第3号	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充、全国一律最低賃金制度の確立を求める意見書の提出について	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

全員が賛成したもの

提出者	議案番号	件名
市長	議案第72号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
	議案第74号	手数料条例の一部改正について
	議案第75号	角田市保育の実施に関する条例の一部改正について
	議案第76号	角田市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正について
	議案第77号	角田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
	議案第78号	角田市国民健康保険税条例の一部改正について
	議案第79号	角田市市民センター条例等の一部改正について
	議案第82号	令和5年度角田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
	議案第83号	令和5年度角田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
	議案第84号	令和5年度角田市介護保険特別会計補正予算(第4号)
市	議案第85号	令和5年度角田市水道事業会計補正予算(第3号)
	議案第86号	令和5年度角田市下水道事業会計補正予算(第3号)
	議案第87号	令和5年度高倉川水管橋長寿命化工事請負契約の締結について
	議案第88号	指定管理者の指定について(社会福祉法人角田市社会福祉協議会)
	議案第89号	特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正について
	議案第90号	角田市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について
市長	議案第91号	職員の給与に関する条例の一部改正について
	議案第92号	令和5年度角田市一般会計補正予算(第8号)
	議案第93号	令和5年度角田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
	議案第94号	令和5年度角田市介護保険特別会計補正予算(第5号)
	議案第95号	令和5年度角田市水道事業会計補正予算(第4号)
	議案第96号	令和5年度角田市下水道事業会計補正予算(第4号)

意見書の提出

国の関係機関へ次の意見書を提出しました。
最低賃金の改善と中小企業支援の拡充、全国一律最低賃金制度の確立を求める意見書

【内容】
1 生活できる所得を確保するため、最低賃金の大幅引き上げを行うこと。
2 全国一律最低賃金制度を確立すること。
3 中小企業負担を軽減するための施策の実施及び中小企業と労働者の社会保険料負担の引き下げを実現すること。

皆さんの陳情

最低賃金の改善と中小企業支援の拡充、格差のない全国一律最低賃金制度の確立を求める意見書の提出を求める陳情
宮城県春闘共闘会議
代表幹事 高橋 正行

固定資産評価審査委員会委員の選任
《再任》古積 伊知郎
任期 令和5年12月26日(3年間)



阿武隈急行線に係る諸課題について

梶目 孝治

議員▼存続が危惧されている状況に鑑み3月に「阿武隈急行線在り方検討会」が設置され、本市も10月に「角田市阿武隈急行線利用促進協議会」を再度立ち上げたが、市長はどのような思いで「在り方検討会」に臨もうとしているのか。

市長▼阿武隈急行線は、本市と沿線自治体にとって重要なインフラであるため、存続を願う住民の声をしっかりと届けたい。議員▼「在り方検討会」の構成員、また、そこではどのような意見や思いが示されているのか。

市長▼沿線自治体、宮城・福島両県、阿武隈急行株式会社等の交通事業者、学識経験者等16名で構成されている。会議は原則非公開だが各立場から現状を分析し、話し合いを進めている。議員▼非公開では市民に

情報が届かない。市民軽視であり、市民の得た検討や議論につながらないと推察するが。市長▼原則非公開の理由は、経営状況や利用促進等に関する検討課題について、16人の知見を持った方々から、忌憚のない自由で活発な意見をいただくためと認識している。市民に情報を示すことは大切であるため、今後、会議の中で発言していく。議員▼角田市民のみならず、近隣の町でも、考えて知恵を出し合い努力していく機運が高まっている。この取り組みを市長はどのように認識し、「利用促進協議会」にどのようにコントラストしていくのか。

市長▼大変心強く感じ、敬意を表している。市もこのような活動に参加し、今後の施策に活かしたい。また、市民グループから

2名に「利用促進協議会」への協力を依頼しており、効果的な活動を展開できると期待している。議員▼「在り方検討会」で、存続問題に特化した論議は危険である。宮城県側沿線の、終わりの始まりにならぬよう、地域の死活問題と捉え、存続を大前提とした沿線自治体の団結、沿線全体施策、検討会議としていく姿勢と覚悟が肝要と察するが、市長の見解を問う。

市長▼「在り方検討会」は、経営改善を図り赤字拡大抑制の方策を協議する目的として設置され、丁寧な議論がなされている。現在、宮城県側が一枚岩となつて問題に取り組むための体制を整えている状況であり、建設的な議論となるよう尽力していく。



「誰一人取り残さないために」一歩踏み込んだ支援策について

菅野 マホ

議員▼現在、75歳以上の独り暮らしの方に年間9600円のタクシー券が配布されているが、64歳以下の同居人がいる場合補助はない。年寄いた親御さんを介護しているご家庭に、介護タクシー券の配布をお願いしたい。

市長▼介護保険制度の動向を見ながら、必要に応じて検討していきたい。議員▼医療関係者から「年間一定数、ごみ屋敷の中で放置された仏様が出る。角田市でごみ屋敷や放置状況になる前に支援対応はできないのか」と質問があったがどうか。

市長▼来年度から、75歳以上で健康診断を受けず、病院や介護保険サービスにも繋がっていない健康状態不明者に連絡を取り、面談や訪問を行うことで早期発見、早期対応を図る。衛生面の問題があれば、原因に応じた支援を行い関係機関と連絡を取りながら解決したい。

議員▼市民より「家周辺の水路に汚泥がたまつて草が生えている」、「雨が降ると水が上がって大変だ」等、水路清掃の要望が多い。行政区長への調査で「何年かかっても一旦ぐると水路清掃をしてほしい」と要望が出てくる。そこで全ての水路を清掃した場合の予算額と実施期間を問う。

市長▼都市計画区域内の用途地域内である道路側溝の概算延長は17.2km、汚泥の収集運搬業務委託費用は約8億5000万円の見込み、排水路の概算延長は16km、委託費用は7000万円の見込みで、仮に年間予算を現状の10倍となる3000万円として30年間を要する。一度に全てを清掃するのではなく、要望箇所に応じて清掃していくのが現実的と考える。

議員▼水路清掃に対して「保全隊」と同様の補助を行うことを提案したい。高齢者ができないことは若者が手伝う。その報酬が準備できれば地区により清掃も可能ではないか。市長▼「地域づくり総合交付金」を活用することが考えられる。地区としてやるのであれば大変ありがたい。

議員▼現在、4月から8月末に坪石取水口から市内へ通水をしているが、非かんがい期は止水しており、悪臭や汚泥がたまる問題が発生している。非かんがい期にも通水することを希望する。市長▼あぶくま川水系角田地区土地改良区と検討を進めていきたい。



市長の所信について

湯村 勇

議員▼市長は、就任以来新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、福島県沖地震や東日本大震災の災害復旧事業、公約である学校給食費の完全無償化等の諸課題に、市民目線に立ち精神的に取り組んでおり、それは誰もが認めるところである。

また、令和4年3月策定の角田市第6次長期総合計画では、理念の中心に「市民力」を据えており、本計画に掲げる10年後の都市像を成し遂げたのではないかと察している。

そこで、来年度に予定されている任期満了による市長選挙に、2期目の出馬の意思があるか所信を問う。

市長▼現在、市民から負託された一期4年の市政運営に、公約も含めて誠

地域消費喚起緊急支援事業について

心誠意、全力で取り組んでいる。また、取り組むべき業務が一期で終わるものではないと考えている。角田市第6次長期総合計画は途に就いたばかりで、本市の最上位計画を策定し運用する先頭に立つ者として、本計画の実現に責任を持たなければならぬという強い思いがある。

2期目の市長選挙の出馬は前向きに考え、残された任期の中で新年度の予算案、施政方針の策定に全力を投入していく。議員▼かくだ3割増商品券は、地域経済活動を促進するとともに3割増分のお得なメリットがあり大好評であるが、①専用券が大・中規模小売店で

使用できない、②有効期間が短い、③お釣りが出ない、④販売方法に問題があると考えるが。

市長▼①は街中など小規模事業所での利用が一定程度確保されるようにしていること、②は商工会の意向を踏まえて出費が増える年末年始時期の消費の下支え等を考慮していること、③は資金決済に関する法律により換金や釣銭を出すことが原則禁止されているためである。④は購入を希望する方のニーズに応え、平日の販売口を設けるとともに、代理購入制度を導入して改善を図っている。

今後、本事業を実施する際には、事業主体の商工会と協議を行い、購入しやすい販売方法について近隣市町を参考に改善策を探っていく。



角田市における新規就農支援のあり方について

戸村 眞喜夫

議員▼令和3年9月の第412回定例会の一般質問で、新規就農者の支援体制と第三者継承の必要性について質問したところ、「農業振興公社をワンストップ窓口として、市内の農業者を対象に新規就農支援事業についてアンケート調査を行い、今後の宮農の意向を把握し、そのほか全国の成功事例を参考にし、新規就農支援事業を進めていく」との市長の回答があった。その後の新規就農希望者受け入れ体制はどうなっているのか。

市長▼アンケート調査の結果、農業後継者がいないという経営体が6割、第三者承継に理解を示した方が約8割いることが分かった。総括として新規就農支援の体制整備、第三者を含めた事業承継

の対応、市内外からの新規就農者の呼び込みを重点的に取り組んでいく必要がある。また、先進事例として福島県の伊達市と伊達市農林業振興公社との連携した取り組みの視察を実施している。農業振興公社では、新規就農者向けPRとして、新しいパンフレットの作成やホームページのリニューアルのほか、11月には道の駅で新規就農相談会を実施し、5名の相談があった。

議員▼具体的に第三者承継の仕組みはどのように構築したのか、また、その成果はどうだったのか。市長▼現在、農業振興公社では後継者を探している方と農業を始めた方のマッチング事業を行っている。ホームページや就農相談会等を活用して

引き続き支援・周知を継続したい。議員▼新規就農支援には、①生産基盤の確保と生産技術の体得、②売り先の確保、③生活面でのサポートが必要になってくる。また、窓口での紹介だけでなく、伴走型の支援が大事だとも言われている。これらを実行するために、農業振興公社の体制強化が必要と思われるがどう考えているか。市長▼体制強化のために令和5年度に正職員2名を新規採用した。また、農業振興公社事業の体制強化を図るため、宮城県大河原農業改良普及センターをはじめ、JAみやぎ仙南・各生産者組織、道の駅かくだ等との連携を深めていきたい。



地球温暖化に伴う自然災害増大と再生可能エネルギーの設備の必要性について

瀧口 聖人

議員▼東日本大震災後、原子力エネルギーの利用が止まり、日本における温室効果ガスの排出量が増加しているが、角田市における自然エネルギーの取り組みについて問う。

市長▼昨年6月、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、カーボンニュートラルの実現に向け取り組む決意を表明した。

角田市における自然エネルギーの取り組みは、公共施設では自治体の率先的モデル事業として、総合保健福祉センターのZEB化改修や、市民センターの太陽光パネルの導入など、積極的に進めている。また、令和5年度に「スマートエコライフ推進事業（※1）」を新規事業として実施して

いる。
議員▼ゼロカーボンを進める上で、現在まで、住民・企業に対して、どのような取り組みを行ったのか。

市長▼昨年10月に、田園ホールで環境シンポジウムを開催し、講演会や市民・事業者・行政の連携したディスカッションを行った。学校関係では、授業の一環として、小学生を対象に環境学習の継続開催、本年5月には、ゼロカーボンに向けた企業情報交換会を実施している。
議員▼今年度から開始した家庭への太陽光パネルの助成制度「スマートエコライフ推進事業」の進捗状況について問う。
市長▼12月15日現在で太陽光パネル18件、定置用蓄電池24件、高効率給湯器（エコキュート）27件

の申請がある。予算額300万円に対して残額45万円となっており、順調な申請となっている。
議員▼今後、「スマートエコライフ推進事業」について、LED照明器具や省エネ家電に対して補助金を拡充する予定はあるか。

市長▼白熱灯や蛍光灯からLED照明器具への切り替えは、コスト面では比較的取り組みやすく、最も効率性の高い事業であることから、LED化に向けた補助を「スマートエコライフ推進事業」の中で拡充可能か検討していきたい。

（※1）太陽光発電システムや蓄電池、高効率の給湯器を設置する場合、設置費用の一部助成を行う事業



リスキリング (Re-skilling) と職員研修について

星 隆悦

議員▼リスキリングとは、経済産業省の資料で「新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキル的大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する・させること」と定義している。リスキリングの概念を職員研修や定年延長に伴う課題解決に取り入れるため、国から指導や通達はあるか。

市長▼リスキリングは大切であり、自治体でも市民の福祉向上や住民サービスを行うためには重要なことであると認識している。
議員▼現在の職員研修は、主に管理者研修、中堅職員研修、新規採用職員研修、専門研修等だが、リスキリング研修を導入するため、その概念を55歳職員から取り入れることについて、市長の見解を問う。

市長▼国から通知通達等はない。
議員▼国の働き方改革実現会議により雇用保険法が改正され、専門教育講座の受講費用に対する教育訓練給付（高度なIT分野、保育・介護等の長期離職者訓練）が拡充された。民間では、生産性向上の確認のためKPIを導入し、時短（時間短縮）と成果（労働により

どれだけの成果が得られたか）等の指標がある。KPIは本市でも導入しているが、加えてリスキリングの導入も必要と考えるか。
市長▼リスキリングは大切であり、自治体でも市民の福祉向上や住民サービスを行うためには重要なことであると認識している。
議員▼公務員の定年延長に伴う人事管理の課題の一つとして、55歳職員から導入してどうかと考える。年収に見合った、そして職員が生き生きと仕事をするため、さらに人生百年時代におけるリスキニング研修の導入について、再度、市長の考えを問う。
市長▼今後、状況を見据えて検討していきたい。

キルを習得する」意味で使用されることが多いと認識している。本市では係長以上の職員は、県主催の自治体DX推進セミナーを受講している。また、DXやリスキリングに限らず、年齢を限定することなく、職員のスキルアップとなるよう、よりよい方法で取り入れていきたい。
議員▼公務員の定年延長に伴う人事管理の課題の一つとして、55歳職員から導入してどうかと考える。年収に見合った、そして職員が生き生きと仕事をするため、さらに人生百年時代におけるリスキニング研修の導入について、再度、市長の考えを問う。
市長▼今後、状況を見据えて検討していきたい。

議員▼令和5年10月20日の建設新聞では、東北農政局が「既存の江尻第3排水機場（撤去予定）の機能を担う排水機場を県道巨理大河原川崎線の南西側に新設を想定し、排水能力30から40立方メートル/秒」また、「角田市南部で排水機場8.7立法メートル/秒で新設する小田排水機場」、「丸森町で既存能力1.0立法メートル/秒を8.7立法メートル/秒に増強する堀切排水機場」を対象に、構想計画をまとめているとのことである。
市長はこの報道を承知しているのか。また、角田市防災・減災構想で掲げている「小田・裏町地区」、「左関地区」、「岡・江尻地区」、「野田地区」の防災・減災対策との整合性と新設する小田排水機場



角田市防災・減災構想に関する事について

日下 七郎

議員▼令和5年10月20日の建設新聞では、東北農政局が「既存の江尻第3排水機場（撤去予定）の機能を担う排水機場を県道巨理大河原川崎線の南西側に新設を想定し、排水能力30から40立方メートル/秒」また、「角田市南部で排水機場8.7立法メートル/秒で新設する小田排水機場」、「丸森町で既存能力1.0立法メートル/秒を8.7立法メートル/秒に増強する堀切排水機場」を対象に、構想計画をまとめているとのことである。
市長はこの報道を承知しているのか。また、角田市防災・減災構想で掲げている「小田・裏町地区」、「左関地区」、「岡・江尻地区」、「野田地区」の防災・減災対策との整合性と新設する小田排水機場

の排水先を阿武隈川とするのか問う。
市長▼建設新聞による報道内容は承知をしている。流域状況などの情報提供を行い、東北農政局阿武隈土地改良調査管理事務所や角田市防災・減災構想との整合性を図りながら、総合的な排水解析を進めている。また、新設する小田排水機場への排水計画は、小田排水路が7.3立法メートル/秒と大沼流域の横倉堀排水路が1.4立法メートル/秒を合わせ、8.7立法メートル/秒である。国営地区調査に来年入る予定であり、その中でさらに精査していく。
第1子の学校給食費無償化について
議員▼第418回定例会（令和4年9月）の一般

田市がリーダーシップを発揮し意思統一すべきだ。市長▼そのように務めていく。
議員▼阿武隈急行線は、角田市の未来の根幹をなすものだ。ふるさと納税寄附金も含めた財政負担など覚悟を持って取り組むべきだ。
市長▼ふるさと納税寄附金も含め、広く検討していく必要があると考える。
議員▼利用拡大の道筋が明確になることも重要だ。パーク＆ライド（駅に車を止め鉄道を利用する）は、CO2削減にも寄与する。もっと魅力的な制度に改善してはどうか。
市長▼鉄道は、ゼロカーボンに向けた有効な手段であり、調査研究し、取り組んでいく。
議員▼市が関係する催事を極力駅周辺で実施し、利用拡大を図っては。
市長▼過去の経緯等を考慮し、阿武隈急行線を意

質間で、予算編成の在り方と題し市長の選挙公約の給食費の無償化を予算化する政治的責任があることを正した。そこで市長に、令和6年度角田市一般会計予算の予算編成中だと思うが、全小・中学生の学校給食費の無償化の予算措置を求めるので見解を問う。
市長▼学校給食費の無償化は、令和5年度より第2子以降の無償化に取り組んでいる。公約にも掲げている学校給食費の無償化について、現在のふるさと納税寄附金等の収入状況を踏まえ、事業実施に係る財源の見通しが一定程度たったことから、令和6年度当初予算に予算措置を予定している。



阿武隈急行線の存続に向けて

菊地利 衛

議員▼利用促進に向けて効果的な施策を展開することを目的とする阿武隈急行線利用促進協議会は、今後どのようなスケジュールで、どのような施策で目的を達成するのか。
市長▼今後、ワークショップ形式の会議で出たアイデアを話し合い、有効な事業は順次実施していく。
議員▼阿武隈急行線利用促進協議会や阿武隈急行線の今後の方針を決める阿武隈急行線在り方検討会の情報を市民に積極的に開示すべきだ。
市長▼在り方検討会は原則非公開だが、利用促進協議会の情報は流していきたい。
議員▼新聞報道では、柴田町長、角田市市長、丸森町長の間に意見の相違があったようだが、事前に相違点を埋めておく必要がある。利用者が多い角

識した事業に努めていく。議員▼駅周辺の観光開発も必要だ。台山公園とその周辺を整備し、他に類を見ない公園にしては。
市長▼JAXAと連携を進め、唯一無二の宇宙関連施設の一つにしたい。
議員▼駅周辺に工業用地、住宅地を開発し、人が集えるエリアにすべきだ。
市長▼現在、都市計画審議会が進めている。
企業誘致の見通しと地場産業の育成について
議員▼現在の造成地に誘致する企業の見通しは。
市長▼現在交渉中である。議員▼地場産業の育成は、ひと・もの・かねの地域内循環割合が高まり、地域活性化に寄与する。販路を含めた経営課題や技術的な課題等を解決できる専門スタッフと連携するシステムを作っては。
市長▼検討し取り組んで行きたい。

9



市内保育施設での完全給食の提供について

齋藤 克敏

議員▼現在、公立保育施設では3歳児以上のクラスでは主食を持参することとなっている。2歳児クラスまでは温かい御飯を食べることができると、3歳児クラスに上がると持参した御飯となる。親と離れ、頑張っている子に温かい御飯を食べさせたい。昨今の異常気象化から主食を持参することで、今後も食中毒のリスクがないとも言切れない。現状と主食提供をしている市内保育施設の主食費は月額いくらか。

議員▼長期休暇中は、終日放課後児童クラブを利用する家庭も多いが、昼食の提供がなく親が早起きをして弁当をつくる負担や食中毒の危険といった課題がある。放課後児童クラブにおいて、今後希望者への昼食の提供を行う考えはあるか。

市長▼提供することは可能だが、食材料費については保護者の負担を求め

議員▼長期休暇中は、終日放課後児童クラブを利用する家庭も多いが、昼食の提供がなく親が早起きをして弁当をつくる負担や食中毒の危険といった課題がある。放課後児童クラブにおいて、今後希望者への昼食の提供を行う考えはあるか。

市長▼病児の受け入れは考えていない。病児保育を開始するには施設や環境が不十分である。

議員▼今後、公立保育所で主食提供を行う考えはあるか。

議員▼病児保育については、アプリアやホームページ等で行っていく。



一般質問に対する答弁について

齋藤 強

議員▼一般質問の答弁で「検討します」と締めくくることがあるが、その後どうなっているのか。

市長▼担当課で検討する。実施するための課題などを共有して対応については市長が指示する。実施可能な案件は予算化する。議員▼山に埋もれている案件もあるのではないかと。市長▼出ていない、据え置きになっている案件があるのも事実かと思う。議員▼区長や市民からの要望に対しても「検討します」後の経過や結果報告があるべきではないか。

市長▼改めて経過、結果報告等するよう努力する。

角田市防災・減災構想について

議員▼令和元年東日本台風並みの大雨が降った場合、現状の段階でどんな被害状況となる予測か。

市長▼当初は災害復旧を優先して応急的に対応していた。その後現地調査、

程度であれば弁当の提供を行う考えはあるか。

市長▼これまで昼食提供の要望はなかった。意見を確認したので、これから調査していく。

議員▼長期休暇中は、終日放課後児童クラブを利用する家庭も多いが、昼食の提供がなく親が早起きをして弁当をつくる負担や食中毒の危険といった課題がある。放課後児童クラブにおいて、今後希望者への昼食の提供を行う考えはあるか。

議員▼核家族化や共働き世帯の増加の社会情勢から考えても、保育のニーズは多様化している。病児保育の開始について問う。

議員▼長期休暇中は、終日放課後児童クラブを利用する家庭も多いが、昼食の提供がなく親が早起きをして弁当をつくる負担や食中毒の危険といった課題がある。放課後児童クラブにおいて、今後希望者への昼食の提供を行う考えはあるか。

議員▼病児の受け入れは考えていない。病児保育を開始するには施設や環境が不十分である。

議員▼今後、公立保育所で主食提供を行う考えはあるか。

議員▼病児保育については、アプリアやホームページ等で行っていく。

議員▼山に埋もれている案件もあるのではないかと。市長▼出ていない、据え置きになっている案件があるのも事実かと思う。議員▼区長や市民からの要望に対しても「検討します」後の経過や結果報告があるべきではないか。

市長▼改めて経過、結果報告等するよう努力する。

角田市防災・減災構想について

議員▼令和元年東日本台風並みの大雨が降った場合、現状の段階でどんな被害状況となる予測か。

市長▼当初は災害復旧を優先して応急的に対応していた。その後現地調査、



角田市の山間部の田畑の有効活用について

小湊 毅

議員▼近年、農家の後継者不足や人口減少により田畑が管理されず、特に山間部においては顕著であるが、耕作放棄地が増え、草刈りもままならないというのが現状である。山間部の田畑の状況について、どのような認識を持っているのか。

議員▼山間部において、農業者の高齢化や人口減少による労働力不足、鳥獣被害などにより、管理が行き届かない農地が増加していると認識をしている。

議員▼山間部の田畑を有効に活用する方法を角田市として検討しているのか。

議員▼中山間地で維持できなくなれば、多面的機能に移行するが、多面的機能に移行したとしても活動に参加できる人が少なくなっている。草刈りすら困難になっている。対策に何か妙案はあるか。



「いじめのない、子どもの命を大切にする学校・社会をつくる」ことについて

八島 定雄

議員▼いじめ対策推進法の重大事態に関係する事案はあるか。

議員▼いじめ防止対策を全体的な取り組みにしていくため、本市でも「角田市子どもいじめ防止に関する条例」(仮称)等を策定する考えがあるか。

議員▼いじめ防止対策を全体的な取り組みにしていくため、本市でも「角田市子どもいじめ防止に関する条例」(仮称)等を策定する考えがあるか。

議員▼いじめ防止対策を全体的な取り組みにしていくため、本市でも「角田市子どもいじめ防止に関する条例」(仮称)等を策定する考えがあるか。

議員▼「若者の個人情報」を自衛隊に提供している現状について問う。

議員▼紙媒体で提供した情報は、その後どのようなのか。

議員▼紙媒体で提供した情報は、その後どのようなのか。

議員▼紙媒体で提供した情報は、その後どのようなのか。

議会だよりモニターを募集します

角田市議会では、読みやすく、わかりやすい議会だよりを目指し、皆さまからご意見をいただく「議会だよりモニター」を募集します。ぜひ皆さまのご意見をお聞かせください。

活動内容

5月・8月・11月・2月に発行する「かくだ市議会だより」を読んでいただき、アンケート調査に回答（意見）をいただきます。

応募要件

令和6年度中（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）に満16歳以上の方で、次の(1)か(2)に該当する方
 (1) 市内に居住する方
 (2) 市内に通勤・通学する方

任期

令和6年4月1日から2年間とし、再任は妨げないものとします。

募集定員

30人以内（応募者多数の場合は先着順になります。）

応募方法

3月11日（月曜日）までに、任意の様式で①氏名、②住所、③生年月日、④性別、⑤電話番号、⑥アンケート調査の回答方法（メール・郵便・FAX）を記入のうえ、メール・郵便・FAX等で下記までご応募ください。



過去のアンケート結果はこちら

【お申込み・お問い合わせ】

角田市議会事務局 〒981-1592 角田市角田字大坊41

電話：(0224) 63-2124 FAX：(0224) 62-4829 E-mail：gikai@city.kakuda.lg.jp

19日	1日	1月	21日	20日	19日	18日	15日	14日	7日	5日	12月	30日	28日	22日	14日	13日	8日	7日	1日	11月	議会日誌	
議会だより編集会議	会派代表者会議	225号発行	かくだ市議会だより第224号発行	議会だより編集会議	議会運営委員会	議会運営委員会	議会だより編集会議	議会協賛会														

編集後記

元旦に震度7を記録した能登半島地震が発生し、津波や火災、土砂崩れなどでたくさんの被害が発生しました。被災された方々には心からお見舞いとご悔やみを申し上げます。角田市でも東日本大震災や台風第19号で大変な被害が及びましたが、被災の辛さを知っているが故に何もできない自分に辛さや憤りを感じています。支援物資や募金など出来ることを探しながら一日も早い復興を心から祈っています。被災地の皆さん、一歩ずつ明るい未来へお体を大事に頑張ってください。

議会だより編集会議
委員 齋藤 強

2月定例会の予定

会期

2月16日(金)～3月14日(木)

本会議の日程（午前10時開会）	
2月16日	提案理由の説明
28日	質疑・自由討議
3月6日	会派代表質問・討論・表決
12日	一般質問
13日	一般質問
14日	最終日

●予算審査特別委員会は
2月28日・29日、3月6日・8日・11日に開催

※日程は変更になる場合があります。
※本会議と予算審査特別委員会はライブ配信（生中継）を行います。

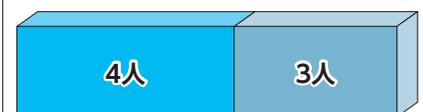
議会だより第224号(11月号)アンケート結果

アンケート結果の一部をお知らせします。

議会だよりは縦書きを基本としていますが、11月号の臨時会・新たな議会の構成は全面横書きとしました。読みやすさはどうでしたか。

(モニター8名、うち回答者7名)

■とても読みやすかった ■読みやすかった
■あまり読みやすくなかった ■読みにくかった



【自由記述（一部抜粋）】

- ・違和感なく読めました。
- ・色の使い方も良かった。

詳細は市議会のホームページをご覧ください。

